



カエデの木の下を通るアプローチより

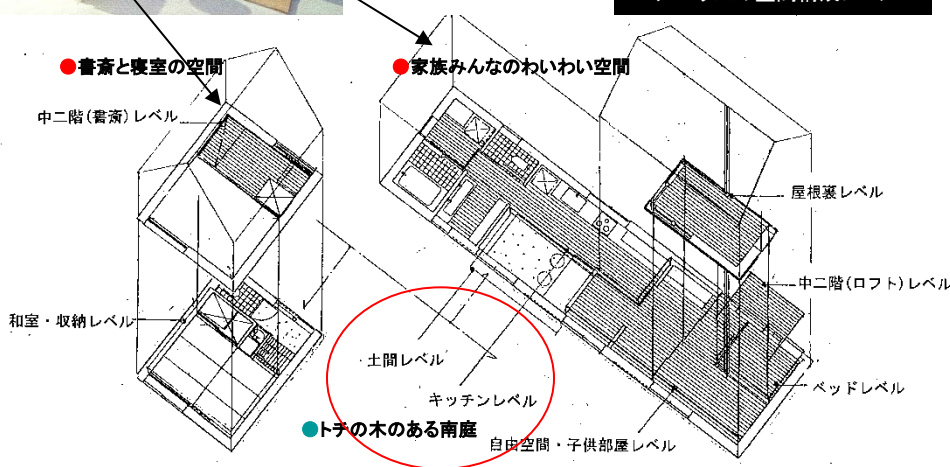


道路側より見る



模型

ベアハウスの空間構成レベル



【建築概要】

所在地 千葉県大多喜町
敷地面積 473㎡
都市計画区域外
用途 専用住宅
規模 主屋 51.84㎡ 離 16.2㎡

施工期間 2006.1~10
基本設計・デザイン監理
高野祐之・高野デザインプロデュース
施工・設計協力
秋葉建設株式会社・秋葉忠夫

千葉県大多喜町は夷隅川の溪谷に沿い、自然も豊かで、民家や町並にも伝統的な佇まいが残っています。『大多喜の家』は、若いご夫婦と3人のお子さんの住まいで、実家の離れにあたります。敷地周辺は、林間の別荘地を想わせ、庭には大きなクスの木とカエデがあります。ご夫婦は、「気配を感じ、子どもが楽しめる住まい」をご希望され、自然素材と職人技を生かしながら、個性に富んだ生活スタイルに答えられるよう計画を進めました。

敷地に余裕もあり、印象的なクスの木とカエデを生かしながら、2つの棟で構成される【対の家】の案になりました。ひとつは、土間を含むダイニングキッチンと中二階子供部屋が、細長いひとつながりの一室空間。もうひとつ棟は、ご夫婦の寝室兼書斎で畳の空間です。



子供部屋とも連結するリビングダイニング



子供部屋は3つの床レベルをもつ



屋根裏部屋も子供の空間